



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル  
コード番号 9713 URL <http://www.rihga.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 亨  
問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 坊傳 康真

TEL 06-6448-1121

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	10,525	△5.9	51	△89.7	△33	—	△47	—
26年3月期第1四半期	11,182	2.4	499	124.0	397	275.0	388	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 7百万円 (△98.0%) 26年3月期第1四半期 390百万円 (907.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.46	—
26年3月期第1四半期	3.80	2.67

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	49,941	8,717	17.5
26年3月期	51,245	7,917	15.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 8,717百万円 26年3月期 7,917百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	△0.6	△250	—	△450	—	△500	—	△4.88
通期	46,100	1.6	1,500	30.0	1,100	44.4	900	60.2	8.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	102,716,515 株	26年3月期	102,716,515 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	260,840 株	26年3月期	259,541 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	102,456,324 株	26年3月期1Q	102,463,020 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
4. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和の効果もあり、企業収益は緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、原材料価格の高騰などが懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、円安の影響もあり、年間訪日外国人数が1,000万人を超えた平成25年を上回るペースで推移していることなどから宿泊需要は増加傾向にあります。一方、法人需要の回復に遅れが見られるほか、飲食施設間の競争も激化するなど、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

こうした環境下、当社はグループホテル全体で宿泊需要を最大限取り込む体制を強化したほか、売上増強を図るべく新たなダイニングスペースや新たなウェディングゾーンの企画を進めてまいりました。

また、来年1月の創業80周年、平成29年夏の中之島3丁目新ホテル開業に向け、お客様にご満足いただける商品・サービスの追求や、高い品質と効率性を両立させた体制構築など、将来も見据えた収益力向上・社内基盤強化に努めてまいりました。

このように、様々な施策を進めましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,525百万円と前年同期比657百万円(5.9%)の減収となりました。

損益面では、営業利益51百万円(前年同期比447百万円の減)、経常損失33百万円(前年同四半期連結累計期間は経常利益397百万円)、四半期純損失47百万円(前年同四半期連結累計期間は四半期純利益388百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,304百万円減少し49,941百万円となりました。

内訳では流動資産が同966百万円減少し5,347百万円となりました。これは現金及び預金が788百万円減少したこと等によります。固定資産は同337百万円減少し44,593百万円となりました。これは有形固定資産が504百万円減少したこと等によります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ2,103百万円減少し41,223百万円となりました。これは退職給付に係る負債が897百万円減少したこと等によります。

純資産は前連結会計年度末に比べ799百万円増加し8,717百万円となりました。これは退職給付会計基準の改正に伴い、退職給付見込額の期間帰属方法や割引率を見直したため、利益剰余金が792百万円増加したこと等によります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想に関しましては、平成26年5月15日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更ならびに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が792百万円減少し、利益剰余金が792百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,825	2,037
売掛金	2,438	2,331
原材料及び貯蔵品	383	401
その他	667	578
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,314	5,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,779	82,796
減価償却累計額	△60,975	△61,519
建物及び構築物(純額)	21,803	21,276
土地	5,214	5,214
リース資産	3,110	3,211
減価償却累計額	△825	△893
リース資産(純額)	2,284	2,317
その他	6,879	6,838
減価償却累計額	△5,653	△5,622
その他(純額)	1,225	1,215
有形固定資産合計	30,528	30,024
無形固定資産		
リース資産	334	526
その他	83	85
無形固定資産合計	418	612
投資その他の資産		
差入保証金	13,217	13,217
その他	820	794
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	13,984	13,957
固定資産合計	44,931	44,593
資産合計	51,245	49,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,404	1,202
短期借入金	3,994	3,934
賞与引当金	234	47
その他	3,933	3,762
流動負債合計	9,567	8,945
固定負債		
長期借入金	15,961	15,229
退職給付に係る負債	6,804	5,906
商品券回収損引当金	157	158
資産除去債務	2,347	2,353
その他	8,489	8,629
固定負債合計	33,760	32,277
負債合計	43,327	41,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,102	18,102
資本剰余金	14,980	14,980
利益剰余金	△26,849	△26,105
自己株式	△53	△54
株主資本合計	6,178	6,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	20
土地再評価差額金	2,573	2,573
退職給付に係る調整累計額	△853	△799
その他の包括利益累計額合計	1,739	1,794
純資産合計	7,917	8,717
負債純資産合計	51,245	49,941

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	11,182	10,525
売上原価	2,933	2,661
売上総利益	8,249	7,863
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	615	656
人件費	3,540	3,620
諸経費	3,594	3,535
販売費及び一般管理費合計	7,750	7,812
営業利益	499	51
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	2
債務勘定整理益	4	3
受取保険金	5	1
その他	8	8
営業外収益合計	22	17
営業外費用		
支払利息	114	94
その他	8	7
営業外費用合計	123	102
経常利益又は経常損失(△)	397	△33
特別損失		
固定資産除却損	2	10
リース解約損	-	14
特別損失合計	2	24
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	395	△58
法人税、住民税及び事業税	26	9
法人税等調整額	△20	△20
法人税等合計	6	△10
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	388	△47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	388	△47

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	388	△47
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1
退職給付に係る調整額	-	54
その他の包括利益合計	1	55
四半期包括利益	390	7
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390	7
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## 部門別売上実績

部門	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
客室	2,324	3.3
宴会	4,061	△10.9
食堂	2,300	△7.1
その他	1,837	△3.2
合計	10,525	△5.9

(注) 受注生産は行っておりません。